

平成30年度 公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団事業計画

I 基本方針

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団は、鎌倉地域の芸術文化の向上と振興、創造的な芸術文化活動の育成支援、国内外の優れた芸術文化の紹介を使命として運営しています。

平成30年度は前年度に引き続き、鎌倉文学館、鏑木清方記念美術館の二つの文化施設の指定管理の着実な運営と集客力の向上、鎌倉市芸術文化振興財団自主事業の充実を目指します。

特に鏑木清方記念美術館は、開館20周年となるため、記念事業を実施します。あわせて第三期指定管理者の最終年度を迎えるため、次期指定管理期間における指定管理者として選定されるよう準備を進めてまいります。

また、鎌倉芸術祭や伝統芸能観賞会などを始めとする財団独自の事業を、自主公演、実行委員会形式、共催形式など様々な方法で、市内の文化施設や社寺教会を中心に、市民や市内各団体とも協同、連携しながら実施していきます。

財団職員の資質の向上、専門性の強化を引き続き進めるとともに、組織の効率的な運営、安定した財務基盤の改善に向けた取り組みを行います。

さらに鎌倉市がおこなう芸術文化事業の一翼を担うための役割分担についても市とともにさらに検討し、鎌倉にふさわしい芸術文化の向上と振興を目指します。

II 事業内容（概要）

1 本部 総務課

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業及び市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

鎌倉芸術館、鎌倉生涯学習センターを中心に、鎌倉市内すべてを芸術文化活動の場ととらえ、新たな事業の創出に向かって、本年度は、次のような事業等を試みていきます。

事業内容	開催予定時期等	場所	備考
映画鑑賞会 「第14回鎌倉名画座」	2月予定	学習センター ホール	映画解説とともに
音楽鑑賞会	5月27日	学習センター ホール	チェコフィルメンバー と市内在住ピアニスト によるコンサート
伝統芸能鑑賞会 「第4回鎌倉笑輪会」	11月10日	鎌倉芸術館 小ホール	人間国宝の講談師・一 龍斎貞水と落語家・柳 家喬太郎出演による伝 統芸能鑑賞会
鎌倉俳句&ハイク	通年	市内各所	投句の募集・選考・ 表彰・年間大賞表彰式
第13回鎌倉芸術祭の運営	9月～11月	社寺教会	鎌倉芸術祭実行委員会 との連携・協力

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

2 鎌倉文学館

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

① 展示事業

鎌倉文学館の所蔵品をはじめとし、広く鎌倉ゆかりの文学者と文学を紹介するため、常設展と特別展及び収蔵品展を実施します。常設展は鎌倉ゆかりの文学を紹介します。特別展は、春は鎌倉在住の作家 高橋源一郎氏の『日本文学盛衰史』をもとに明治時代に活躍した作家を紹介、夏は児童文学作家の富安陽子さんの協力により子ども向けの展覧会を開催します。秋は、「吾妻鏡」の時代に書かれた文学とその時代を書いた現代の文学を紹介します。収蔵品展は、随筆や小説など作家の目を通した鎌倉の魅力を紹介します。

常設展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
<常設展> 「鎌倉ゆかりの文学」 ※年4回展示替え	4月1日～平成31年3月31日 ※特別展・収蔵品展と同時開催	
特集展示 生誕140年「有島武郎」	春	
特集展示 生誕130年「真下喜太郎」	夏	
特集展示 生誕100年「清水基吉」	秋	
特集展示 生誕140年「昇曙夢」/ 全国文学館協議会共同展示「文学と天災地変」	冬	
ミニ展示「鎌倉を舞台にした作品」 ※年4回展示替え	4月1日～平成31年3月31日	

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 304日

特別展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
※29年度からの継続事業 <収蔵品展> 「作家と歩く鎌倉 その2 由比ガ浜・材木座方面」	4月1日～4月15日 (開館日数13日)	300円
<特別展> 「明治、BUNGAKUクリエイターズ」(仮)	4月21日～7月8日 (開館日数75日)	400円
<特別展> 子どもたちへ、未来へシリーズ8 「富安陽子の世界」(仮)	7月14日～9月17日 (開館日数59日)	300円
<特別展> 「鎌倉時代を読む 古典から現代作品まで」 (仮)	10月1日～12月9日 (開館日数67日)	400円
<収蔵品展> 「作家と歩く鎌倉 その3」(仮)	12月15日～平成31年3月31日 (開館日数90日)	300円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 304日

(2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鎌倉ゆかりの文学者および文学作品等について情報および資料を収集します。資料に関しては「鎌倉文学館資料整理基準」に基づき、適切な維持管理を行います。鎌倉ゆかりの文学者および文学作品等の調査および研究を行い、調査および研究の成果を図録等の刊行物として作製し市民に公開します。

- ① ゆかりの文学に関する調査研究の業務
- ② ゆかりの文学資料の収集
- ③ 所蔵資料のレプリカの製作
- ④ 図録等の作製及び頒布
- ⑤ 鑑賞動機や意向等のアンケートの実施
- ⑥ 収蔵管理システム
- ⑦ 収蔵資料の点検

(3) 芸術文化の振興に関する情報収集及び提供事業

鎌倉ゆかりの文学の情報を収集し、ホームページ等で提供します。また、収集した情報と調査研究事業の成果とあわせて、レファレンス業務に反映させていきます。

- ① 鎌倉を舞台にした文学作品の情報収集
- ② 文学に関するレファレンス業務

(4) 市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

市民が文学について理解を深め、親しみを感じられるよう、より普及事業に力を入れていきます。これまで取り組んできた文学講演会、文学講座、文学散歩などは、内容を充実させます。そして、古典講座、展示解説、資料解説講座、資料調査講座、自作を語る、朗読ワークショップなどを実施します。子ども向けの事業として子ども参加プログラムや、やってみよう文学館のお仕事を開催。さらに第7回こども文学賞を開催し、全国の小中学生から詩を募集します。

事業名	開催時期等	料金等	備考
文学講演会	春・秋	無料	特別展の関連し、展覧会監修者やご遺族による講演会
文学講座	春・秋	無料	文学について理解を深めるための専門家等による講座
文学散歩	5月 11月 3月	無料	文学者、文学作品、文学碑などの文学遺跡を地域ごとに、文学館職員の解説で市内を散策する。
文学スタンプラリー	秋	無料	文学館をゴールに市内の文学ゆかりの施設をめぐるスタンプラリー

事業名	開催時期等	料金等	備考
子ども参加プログラム	夏	無料	親子や子どもを対象としたワークショップ等を実施
古典講座	6月, 3月	無料	要望が多い古典文学の講座を実施
やってみよう文学館のお仕事(子ども向け)	夏	無料	自分だけの小さな展覧会を作る、学芸員体験ワークショップ
展示解説	毎週土日祝日	無料	展示資料や建物について職員が解説
資料解説講座	7月, 12月	無料	館収蔵資料について調査研究し、資料の背景や魅力を解説
自作を語る	2回	無料	作家に自作を語っていただく。
学芸員実習	8月	有料	博物館学芸員資格履修者のため実習をおこなう。
インターンシップ	適宜	無料	中学生、高校生に向け職業体験をおこなう。
第7回こども文学賞	秋		小中学生を対象とする詩の募集、選考、表彰
朗読ワークショップ	秋(2回)	無料	作品への理解を深めた後、プロの指導のもと朗読を学ぶワークショップ
資料調査講座	秋	無料	館収蔵資料について、学芸員の調査を疑似体験する講座

・他館との連携

夏の特別展の期間中に神奈川近代文学館、町田市民文学館ことばらんどと連携し、子どもたち向けに「夏の文学館スタンプラリー」を実施します。

(5) 文化施設の管理運営事業

ホームページ、Facebook、twitterによりタイムリーな情報発信を図ります。また地域のメディア、施設へ積極的に情報提供を行うなど地域と触れあう地道なPR活動により、知名度の底上げを図ります。広報宣伝活動の一環として、春と秋のバラ園の開花と、クリスマス、バレンタインの時期にあわせてイベントを行います。また、江ノ島電鉄と連携し、江ノフェス参加を予定します。さらに2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、英語版のパンフレットに続き、他の言語の作製に取り組みます。また、ホームページのスマートフォン表示や英語表記に対応するため、リニューアルに取り組む予定です。

- ① 鎌倉文学館の利用に関すること
 - ア. 鎌倉文学館の利用の承認等に関する業務
 - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
 - ウ. 鎌倉文学館への来館促進及び広報宣伝に関する業務
 - エ. 施設案内業務
 - オ. 入館者の安全に関する業務
- ② 鎌倉文学館の施設管理に関すること
 - ア. 施設管理運営業務
 - イ. 施設清掃業務
 - ウ. 保安警備業務
 - エ. 庭園維持管理業務
 - オ. 備品管理業務
- ③ 鎌倉文学館の資料に関すること
 - ア. 鎌倉文学館資料の維持管理業務

(6) 収益事業

当財団の公益目的事業の推進に資するため、鎌倉文学館オリジナルのミュージアムグッズ販売、一般書籍などの受託販売、他施設への企画提供、飲料自動販売機設置など、収益事業を行います。

3 鍋木清方記念美術館

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

① 展示事業

これまでに蓄積した調査結果と研究成果に基づき、特別展と企画展を実施します。

特別展は、開館 20 周年や清方生誕 140 年を記念した展示を開催します。他館や個人コレクターが所蔵する美人画、市井の暮らしや風物、芝居などが描かれた名品を展示し、清方の幅広い創作活動を紹介します。また、泉鏡花の文学に取材した作品や著書に向けて描いた装丁や口絵など、清方と鏡花の関わりを紹介する展示も実施します。

企画展では、水野年方から清方、その弟子へつながる美人画の系譜や、挿絵画家時代から晩年までの画業の紹介など、多角的な視点で捉えて実施します。

展覧会名	開催予定期間等	入場料
※29 年度からの継続事業 ＜企画展＞清方、人物を描く —四季を彩る花々とともに—	4 月 1 日～ 4 月 15 日 (開館日数 13 日) (3 月 2 日から 開館日数 39 日)	200 円
＜特別展＞ 開館 20 周年記念 鍋木清方の芸術展	4 月 20 日～ 5 月 23 日 (開館日数 31 日) ※4 月 20 日は無料観覧日	300 円
＜特別展＞ 清方生誕 140 年記念 清らかに、うるわしく —清方の美人画—	5 月 26 日～7 月 1 日 (開館日数 31 日)	300 円
＜企画展＞ 清方の旅 —涼を求めて金沢八景へ—	8 月 1 日～ 8 月 26 日 (開館日数 23 日)	200 円
＜企画展＞ 色づく秋、色めく秋 —清方の美	9 月 1 日～ 10 月 17 日 (開館日数 40 日)	200 円
＜特別展＞ 泉鏡花生誕 145 年記念 清方描く、鏡花の世界	10 月 20 日～11 月 25 日 (開館日数 31 日)	300 円
＜企画展＞ 水野年方没後 110 年 清方、紡がれる美の系譜 —師から弟子へ	12 月 1 日～平成 31 年 1 月 14 日 (開館日数 35 日)	200 円
＜企画展＞ 佳人をゑがく —清方の美人画を中心に—	1 月 19 日～2 月 24 日 (開館日数 32 日)	200 円
＜企画展＞ ゑがき、ゑがく 清方 —その優美な絵の世界—	3 月 2 日～ 3 月 31 日 (開館日数 26 日) (4 月 14 日まで 開館日数 38 日)	200 円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数計 262 日

② その他の事業

開館 20 周年を記念した無料観覧日を設けるほか、鍋木清方とゆかりのある三遊亭圓朝との関わりを紹介する落語会、清方と親交のあった泉鏡花の作品の朗読、清方が描いた芝居絵の解説や日本舞踊の実演などを行い、美術以外に興味のある方々への来館を促進します。

事業名	開催時期等	料金等	備考
開館 20 周年記念 無料観覧日	4 月 20 日	無料	開館 20 周年記念特別展の初日に無料観覧日を設ける。
開館 20 周年記念 落語会	6 月	2,000 円	落語家を招き、清方と落語についての学芸員との対談、落語公演を行う。
開館 20 周年記念 関連イベント	秋季	無料	俳優による泉鏡花作品の朗読と展示解説
	秋季	無料	舞踏家による日本舞踊実演と展示解説

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

(2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鏑木清方の画業に関する調査研究を行い、研究の成果をまとめた叢書図録の発行、資料公開の促進や良好な保存を行うための作品・下絵の修復事業にも力を入れます。また、市民の理解と共感を得られるように入場者の鑑賞意向調査の事業も行い、美術館事業にも反映します。

- ① 鏑木清方に関する専門的な調査研究
- ② 鏑木清方関係資料の収集
- ③ 鏑木清方の作品・下絵等の修復・整理
- ④ 鏑木清方叢書の作製及び頒布

事業名	内容
叢書 22 「鏑木清方と金鈴社」	大正期に中堅画家の集まりとして日本画壇の注目を浴びていた金鈴社について解説し、金鈴社の会員と清方との交流や、金鈴社における清方の画業を調査し、叢書として刊行します。

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

- ⑤ 展示鑑賞動機や意向等のアンケートの実施

(3) 芸術文化の振興に関する情報の収集及び提供事業

鎌倉市鏑木清方記念美術館と鏑木清方の情報を発信し、来館のきっかけを作ります。また、より多くの媒体に取り上げられるよう、広報宣伝にも力をいれます。

事業名	開催時期等	料金等	備考
鎌倉ミュージアムめぐり スタンプラリー	4 月～ 12 月	入館料	川喜多映画記念館、神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉国宝館、鎌倉歴史交流館との連携事業
鎌倉の小さな美術館へ ようこそ！	秋季	入館料から 50 円割引	北鎌倉葉祥明美術館との連携事業
清方・蓬春 連携企画	冬季	入館料から 50 円割引	山口蓬春記念館との連携事業

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

前記の他、次の事業を行います。

- ① 広報宣伝 (ホームページやツイッター・フェイスブックの活用、案内パンフレット配布)
- ② 企画協力、資料貸し出し協力

(4) 市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

講演会や講座、子ども向けプログラム、展示解説を行うほか、学芸員実習生、高校生のインターンシップ、大学院生のインターンの受入れを行い、美術館の業務推進を図るとともに、将来美術館業務に携わる世代の育成支援を行います。

事業名	開催時期等	料金等	備考
開館 20 周年記念 美術講演会	4 月	500 円	開館 20 周年を記念し、鏗木清方の芸術についての講演会を行う
美術講演会	11 月	500 円	泉鏡花生誕 145 年記念の特別展に関連した講演会
展示解説	毎月の第 2・第 4 土曜日 (団体は随時)	無料	学芸員による展示解説
市民講座	4 月	無料	学芸員等による講座タイプの解説
日本画 ワークショップ	5 月・6 月・9 月・ 10 月・11 月	有料	一般向けの日本画材を使って絵を描くワークショップ
日本画制作実演	5 月・10 月	無料	日本画家による日本画を描くデモンストレーション
子ども参加プログラム ワークショップ	4 月・8 月	有料	小学生から高校生対象の日本画材を使って絵を描くワークショップ
子ども参加プログラム 親子鑑賞	春休み・夏休み 期間中 (4 月・8 月・3 月)	無料	小学生・中学生及び同伴者の観覧料無料、ワークシートの配布を行う。
紫陽花イベント	6 月	500 円	鎌倉の紫陽花と清方作品を鑑賞するプログラム (NPO との連携事業)
親子参加プログラム ワークショップ	8 月	有料	未就学児童～小学校低学年対象親子で美術館を楽しむワークショップ (NPO との連携事業)
学芸員実習	8 月	10,800 円	大学の学芸員実習課程履修者に対して実習を行う。
インターンシップ	随時	無料	中学生・高校生にむけ職業体験を行う。
インターン (大学生・院生)	随時	無料	大学生・大学院生を対象に就労体験を行う。

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

(5) 文化施設の管理運営事業

鏗木清方記念美術館の施設管理、運営を行います。

- ① 鏗木清方記念美術館の利用に関すること
 - ア. 鏗木清方記念美術館の利用の承認等に関する業務
 - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
 - ウ. 鏗木清方記念美術館への来館促進に関する業務

エ. 施設案内業務

オ. 入館者の安全に関する業務

② 鏑木清方記念美術館の施設管理に関すること

ア. 施設管理運営業務

イ. 施設清掃業務

ウ. 保安警備業務

エ. 庭園維持管理業務

オ. 備品管理業務

③ 鏑木清方作品等に関すること

ア. 鏑木美術作品等の維持管理業務

(6) 収益事業

その他、来館者サービスの一環として、美術館オリジナルの絵はがき・一筆箋などのミュージアムグッズや叢書を販売します。希望者には通信販売も行います。また、書籍などの受託グッズ販売も併せて行います。